

平成29年度 経営発達支援事業 実績・評価

1. 評価期間名 奈井江町商工会 経営発達支援計画評価委員会
2. 開催日時 平成30年3月19日(月) 14時00分～15時00分
3. 開催場所 奈井江町商工会

4. 出席者

- ・奈井江町商工会 会長 石川 正 人
- ・奈井江町役場ふるさと商工観光課 課長 横山 誠
- ・北門信用金庫奈井江支店 支店長 小林 明
- ・北海道商工会連合会組織支援部広域支援課 主幹 大山 信幸
- ・奈井江町商工会 事務局長 長谷 忠司
- ・奈井江町商工会 経営指導員 山形 幸司

5. 平成29年度奈井江町商工会経営発達支援計画の実績と評価

I. 経営発達支援事業の内容

1) 地域の経済動向調査に関すること

・アンケート調査の実施

目標：1回 実績：1回 自己評価：C

町内事業所において業種ごとの景況感調査を実施

・各種経済情報の収集提供及び分析

目標：2回 実績：3回 自己評価：A

RE S A S分析や中空知、北海道、全国における景況調査を集計・分析を行い、情報提供を行う

2) 経営状況の分析に関すること

・巡回訪問の強化

目標：450回 実績：310回 自己評価：B

補助事業の周知や各種調査など積極的な巡回訪問を実施

・経営分析の実施

目標：13件 実績：12件 自己評価：B

経営自己診断システムやネットde記帳など経営分析ツールを活用し分析を行う

3) 事業計画策定支援に関すること

・計画の策定セミナー・個別相談会実施

目標：1回・5社 実績：2回・7社 自己評価：B

ミラサポを活用した事業計画策定支援及びよろず支援拠点を活用した事業計画策定セミナーを開催

・事業計画策定事業者数

目標：13件 実績：3件 自己評価：C

補助事業活用による計画策定1件、金融支援による計画策定2件実施

・創業支援・創業計画策定支援

目標：1社・1件 実績：1社・1件 自己評価：A

サービス業の創業支援及び創業計画策定支援を実施

・商品開発セミナー・個別相談会実施

目標：1回・1社 実績：1回・2社 自己評価：B

新商品開発セミナーを開催

・第二創業(商品開発)計画策定事業者数

目標：1件 実績：0件 自己評価：D

4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・フォローアップ

目 標：56回 実 績：12回 自己評価：C

補助事業活用計画策定者フォローアップ9回、創業計画策定者フォローアップ3回実施

5) 需要動向調査に関すること

- ・消費者動向実態調査支援事業所数

目 標：3件 実 績：0件 自己評価：D

- ・消費者動向実態調査回数

目 標：1回 実 績：0回 自己評価：D

- ・ふれあいネットワーク利用者数

目 標：80件 実 績：54件 自己評価：C

ふれあいネットワーク加盟店名簿の配布やHPでのPR活動により利用者の増加に繋がる

- ・ふれあいネットワーク会員数

目 標：22社 実 績：26社 自己評価：A

ふれあいネットワークの活動をPRすることで加盟店増加に繋がる

- ・消費動向調査資料の提供

目 標：4回 実 績：9回 自己評価：A

各種消費動向調査の内容を集計し、HP等で情報発信を行う

- ・消費動向実態調査提供事業者数

目 標：25社 実 績：20社 自己評価：C

各種会合や巡回訪問等で積極的に情報提供を行う

6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・商談会・物産展出展事業者数

目 標：2社 実 績：2社 自己評価：B

12品目の商品の出展を行う

- ・インターネット活用支援

目 標：2社 実 績：0社 自己評価：D

II. 地域経済の活性化に資する取組

- ・関係機関の連携

目 標：計画協議 実 績：未実施 自己評価：D

- ・試食会

目 標：1回 実 績：6回 自己評価：A

奈井江産野菜を活用した商品開発を行う

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・北海道商工会連合会等専門支援機関との連携と情報交換

目 標：1回 実 績：4回 自己評価：A

支援ノウハウ、課題の解決方法について情報交換を行う

- ・近隣する商工会の経営指導員との情報交換

目 標：2回 実 績：3回 自己評価：A

消費動向や需要動向について情報交換を行う

2) 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・研修等への参加

目 標：経2補1記1 実 績：経3補1記1 自己評価：A

知識・技能・支援ノウハウの習得に繋がる

- ・職場内研修・情報共有

目 標：4回 実 績：6回 自己評価：A

複数職員による巡回訪問等を行うことで情報共有と支援ノウハウの継承を行う

3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- ・事業評価委員会の開催

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A

6. 委員からの意見等

- ・目標数値の達成も重要だが、実施内容の充実が重要、目標値を下げてでも継続して事業を実施して欲しい
- ・特産品開発事業所の支援は奈井江町を PR する意味でも重要になっていく
- ・商談会でのバイヤーの意見は参考になるため商品改良を行っていくうえでも継続して実施して欲しい